

平成22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493000101	事業の開始年月日	平成21年4月16日	
		指定年月日	平成21年4月16日	
法人名	社会福祉法人プレマ会			
事業所名	そよ風			
所在地	(242-0028) 神奈川県大和市桜森3丁目4番4号			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成23年1月15日	評価結果 市町村受理日	平成23年4月25日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1493000101&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・グループホームも地域で生活する一員として、自治会行事への参加(初詣、どんど焼き、さくら祭り、盆踊り、避難訓練、秋祭り、新年会など)ボランティアとしての協力しています。

・食事に関して、ご利用者の希望も取入れ職員全員で考える献立、食材は地域の商店を利用しています。調理はご利用者と一緒に行っています。

・年間の行事を担当制にして2、3フロア職員協力して、行う外出ツアーや、年2回のバスツアーによる外出(江ノ島水族館、大山紅葉ドライブと豆腐懐石料理)今できる事を楽しんで頂けるよう、また、どうしたら参加可能になるかを考え、全員参加ができることを目標にしています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞ ｽﾌﾞﾌﾞ 3階		
訪問調査日	平成23年2月16日	評価機関 評価決定日	平成23年3月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

グループホーム「そよ風」は、大和市に特別養護老人ホームなどを持つ社会福祉法人が運営するグループホームで平成21年4月に開設されました。相鉄線相模大塚駅から徒歩2分ほどのスーパーなどの商業施設が近隣にある3階建ての建物の2階と3階を使用している2ユニットのグループホームです。この建物の特徴は、屋上にソーラーシステムを設置し太陽光発電を行い、自家発電装置も整備されています。1階には保育施設が併設され、主に社会福祉法人の職員の子供たちを預っています。

<優れている点> 地域との交流に力を入れています。管理者が自治会の総会や役員会に出席し、自治会主催のどんど焼き・盆踊り・避難訓練・新年会・隣人祭りなどにも参加し、盆踊り大会の時には模擬店の担当もしています。近隣のコンビニエンスストアにクリスマス会の食事の一部を注文し、そのストアの方がサンタに扮装して利用者を楽しませています。その他優れている点として施設面での充実が挙げられます。オール電化で、リビングの床暖房やナースコール・スプリンクラー・パッケージ型消火設備などが整備され、緊急時にストレッチャーで乗れるエレベーターの設置や浴室にはリフトが整備されています。

<工夫している点> 外出の機会を多くしています。年2回の江ノ島などへのバスツアーや誕生日会を兼ねての近隣のすし屋・ファミリーレストランなどに2ヶ月に1度食事に行っています。その他工夫している点として、事務処理のペーパーレス化を図り、介護事業所用のパソコンを導入しています。職員は、利用者の記録をパソコン入力し、様々な情報をパソコン上で得る事が出来るようになっていきます。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	そよ風
ユニット名	2フロアー さくらユニット

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に繋がっている	<ul style="list-style-type: none"> ・ベースの理念をより分かりやすく職員全員でつくりました。業務の中で意識するように心がけています。 	職員一人ひとりが作成したものをまとめて理念としました。理念は事務所などに掲示しています。採用時のオリエンテーションにおいて理念を説明し、月1回開催している職員会議では理念の確認をしています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事、どんど焼き、さくら祭り・隣人祭りなど、ご利用者と一緒に参加しています。 	自治会に加入し、総会や役員会にも管理者が出席しています。自治会主催の盆踊り大会には模擬店の担当もしています。新春の集い・防災訓練・さくら祭り・隣人祭りなどに利用者と共に参加しています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・そよ風からの発信はできていません。来年度の取り組みとして、ご近所の高齢者の方を食事にお誘いしたいと考えています。（今年度は回覧板をお持ちすることで顔なじみになれました） 	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の中で出た意見や、話は参考にさせて頂いています。 	年6回、2ヶ月に1度開催されています。自治会長・地区社協会長・老人会長・市職員が毎回出席しています。地域の情報交換や自治会の催し物の連絡などがあり地域との繋がりを深めています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議、その他敬老祭への出席をお願いしています。 	大和市認知証対応型サービス事業管理者研修に参加しています。グループホーム連絡会に市の担当者が出席しています。月に2回空き室情報を市に提供しています。市主催の講演会などのチラシが送付され、入口に置いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関の施錠はしない様に心がけています。 ・薬を出来るだけ使用しない努力をしています 	<p>身体拘束廃止の方針があります。大和市主催の研修に出席し、その際の教材を用いて、禁止の対象となる具体的な行為などについて職員全員で研修しています。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修で実施。 ・ご利用者の身体の変化を細かく見る様にしています。 		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに成年後見制度を利用されている方は、後見人の方と連絡を取りご本人が困ることがないように連携を図っています。 ・研修会への参加。 		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時に説明を行っています ・ユニット玄関にいつでも見られるように置いてあります。 		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面会時に、御家族とお話ができるよう心がけています。 ・ご家族が参加する行事を設け(敬老祭)その中での御意見などは、参考にさせていただきます。 	<p>家族の面会が毎日のようにあり、その際に意見を聴いています。講師を呼び、家族から要望のあった認知症ケアに関する話を講演しています。玄関にお花が欲しいとの要望があり、すぐに利用者と共にプランターに花を植えました。</p>	<p>家族に利用者の日々の様子などの便りを発信し、家族会などを提案し、事業所との意見交換をして、サービスのさらなる向上に反映することを期待します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・意見や提案は、会議などで職員全体で話し合いながら、進めています。	毎月1回ユニット会議、職員会議を開催し職員からの意見や提案を聞く機会を設けています。その意見を毎月行われる部長会議などに提案し、改善されています。馴染みの関係に配慮し、職員の異動は出来るだけ避ける体制作りを行っています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・日々努力しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・ユニット会議内で、お互いのケアの方法を意見交換しています。 ・職員会議の中での研修。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・大和市内のグループホーム職員の集い（偶数月）や、ホーム長会（奇数月）への参加。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・不安などが有る時には、ご本人の話を傾聴し、解決できるよう声掛けをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・面会時には、御家族にお話ができるようお声をかけ相談をお受けするよう心がけています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・面会時に、ご家族と相談させて頂いています。 ・ご本人が混乱や不安感がないよう注意して対応しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・できるだけ、ご自分でできる事はして頂き、私たちのお手伝いもお願いしています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・誕生会などの行事に参加できる機会を作り、一緒に楽しんで頂けるようにしています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・知人などの訪問は、快く受け入れくつろいで頂けるよう配慮しています。	入居前からの馴染みの人が面会に来ています。お茶の先生の元生徒さんや牧師さんが来ています。近隣の床屋、スーパーなど職員が同行しています。外泊が出来る利用者は、家族のところや誰も住んでいない自宅へ家族の協力のもと外泊しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・毎月の行事。 ・音楽クラブの実施。 ・テーブル席、外出時の席等気の合う方が近くになる様配慮しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・退所された方からの相談は現在特にありませんが、今後は考えていきます。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・ご本人のご希望が実現できる様に心がけています。	日々のかかわりの中で声を掛け、言葉や表情や行動から思いや意向の把握に努めています。例えばバッグを持ったから外出したいとの意向をくみ取っています。入浴などでマンツーマンになる時など特にゆったりとした中で話をよく聞いています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入所前の生活歴などについて情報をご家族から得て、職員共有しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・ご利用者とコミュニケーションをとり、介助をしている中で現状の把握に努め、確認しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット会議の中で現状把握、ADLの低下や認知症の進行などについて話し合い早めに対応するよう心がけています。 	<p>月1回ユニット会議のときにケアカンファレンスを設け、利用者の状況について話し合っています。家族からは面会時に意見を聞いています。往診申し込み表を作成し、医師の意見を取り入れています。介護計画を3ヶ月ごとに見直しています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子の記録はパソコンで行っています。 ・記録の内容から統計を行い、介護計画につなげています。 ・他に情報の共有は、申し込みや、ノートを活用をしています。 		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受診などご家族に代わり職員の付き添いで行く事もあり、変化に応じて対応しています。 		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の商店との関わり合い（魚屋さん、八百屋さん、コンビニなど）消防署・警察署には訓練時。スーパーや美容院など様々な協力の中で生活を送っています。 		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問医との連携できています。もっと詳しく診て欲しいとのご家族からの希望が有る時には、ドクターからの紹介状を頂き、他の病院の受診もできます。 	<p>利用者はかかりつけ医を継続しています。内科（隔週往診）歯科（年2回定期健康診断）が協力医です。家族の要望があれば他の病院を紹介しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者に異常が有る時には、みなみ風、真和クリニック（訪問医）の看護師と直に連絡を取り指示を仰ぐことができます。 		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入院の際は、医師、看護師の指示に従い速やかに対処しています。退院時は入院中の様子、退院後の介護について入院先の相談員やご家族と連携し、情報交換し安心して生活が送れる様に心がけています。 		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・「重度化した場合における対応に係る指針」が有ります。終末期はどの様に過ごしたいのがご家族とも話し合いご家族との協力の上ご本人の意思を尊重して、終末期を安心して迎えられるように心がけています。・地域の病院とも連携ができています。 	「重度化した場合における対応に係る指針」を作成し、入居時に説明しています。医療連携体制があり、家族、医師と看護師が緊密に連携しています。昨年は看取りを経験しています。職員はターミナルケアについて研修をしています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・往診医との連携を取り急変時は対応しています。 ・会議の中で研修を行い周知しています。 		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、避難訓練は定期的に行っています。 ・地域の訓練にも参加しています。 	年2回避難訓練を実施しています。この避難訓練に近隣の知的障害者の作業所の所長が参加しています。自治会主催の防災訓練にも参加しています。	法人の施設が徒歩5分のところにあるため、備蓄品については考えられていません。今後は事業所として備蓄について検討されることが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・一人ひとりのペースに合わせた支援を心がけ、プライバシーを尊重し、またご利用者の能力を最大限に生かせるように対応しています。	プライバシー及び個人情報の保護に関し、職員全員が毎年社内研修を受けています。排泄誘導時の声かけはさりげなく行い、失敗したときは利用者の誇りを傷つけないように対応しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・日常の中でご利用者が思いや希望を表わしやすく心に心がけています。日常の会話の中にも自己決定ができるよう促しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・ご利用者の希望を大切にしたいので、散歩、外出など時間を作り支援するようにしています。訴えられた時にすぐに実現できなかったとしても、職員間で話し合い希望をかなえられるようにしています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・ご自分で更衣が出来る方には、好きな服を着て頂き、援助が必要な方には、個人にあった物を着用して頂いています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・料理の下ごしらえが出来る方には、なるべくお手伝いをお願いし、一緒に料理を行っている。片付けもご自分でできる方には下膳のお手伝いも進んで頂くよう声掛けをしています。	食事を重要課題としています。献立作りは職員全員参加で取組み、材料は近くのスーパーや専門店で購入しています。利用者はその日のメニュー書きや野菜切り、食器拭きなどに参加しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・栄養バランスという点では、毎月の献立を作成しています。同じ献立がないようにし、食品目を多く摂取できるようにしています。献立にはご利用者の希望を訪ね、メニューに取り入れます。水分は1日に800cc～1000cc以上摂取されています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・食後は、一人ひとり職員が声掛けを行い、一緒に口腔ケア実施しています。夕食後は、義歯を殺菌剤に浸し消毒ケアを行っています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>・個々の排泄残存機能について把握しています。トイレの利用介助と見守り。排尿、排便のチェック記録。今後布パンツとパットへの移行を検討していきます。</p>	<p>日中は全員トイレを使用しています。排泄リズムを把握し誘導することにより、パットが汚れない人が増えてきました。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>・牛乳とヨーグルトの摂取を積極的に行っています。便秘の方の下剤の調整は訪問医と連携し、きめ細かく行っています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>・拒否の強い場合は、無理なご案内はしていません。入浴時はゆったりとした雰囲気の中で職員と会話を楽しみながらの実施を心がけています。</p>	<p>1週間に3回の入浴、その外の日も足浴をしています。ゆず湯・菖蒲湯などの季節湯も楽しんでいます。職員と利用者がマンツーマンでゆったりとお話ししながら入浴しています。浴室にはリフトが備え付けられています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の生活のリズムを把握しベッドへの休息を行っています。 ・週に一度のリネン交換と、時々布団干しも行い、気持ち良い安眠を心がけています。 		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・薬シートで情報の一元化しています。服薬については、セット時2人職員のチェックを行います。服薬後は、チェック表で管理しています。往診時に薬の変更など書面、口頭申し送りしています 		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>散歩、音楽クラブ、行事参加、お買い物、みなみ風喫茶店の利用、飾り物作り、ユニット内でのコーラスなど、保育園「風の子」との交流。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外出には、一人でも多くの方々に参加して頂けるよう、職員も計画を立て、バスツアーや食事会などに出席楽しんで頂けるよう心がけています。 	<p>行事として外出の機会を多く計画しています。年2回のバスツアーや食事会に出かけています。普段の散歩では近隣のホームセンターのペットショップや同法人の施設の喫茶コーナーに行ったり、回覧板を持っていたりしています。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者個人では、殆どの方が出来なくご家族と連絡を取り欲しいものや、必要な物を買ってきて頂くようお願いしています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話については、ご利用頂く時もあります。手紙については、御利用者が書かれた手紙は、住所を確認して、すぐにポストへお出しします。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・玄関は、季節に応じた飾り付け。 ・廊下には手摺、夜には灯り。居間食堂は、娯楽の場としてもオープンにし、御家族、友人の面会時も自由にご利用いただけます。行事の写真なども貼ってあります。 ・浴室、トイレは、清潔に清掃し気持ちよくご利用いただけます。	年2回床・窓などを専門の清掃業者に依頼しています。空気清浄機を設置し、温度・湿度管理をしています。リビングの家具類は、自然の素材を活かした木のぬくもりを重視して選んでいます。行事の写真なども掲示しています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・食事席以外は自由に過ごして頂いています。新聞、本を読まれる方、手紙を書かれたり、居眠りをする方、談笑されたりとする光景が有ります		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ご自分の使い慣れた家具（椅子や机、鏡台、三面鏡、箆笥、仏壇など）をご自宅より持ち込んで頂いています。	トイレが設置されている居室が2部屋あり、エアコン・スプリンクラー・煙探知機・換気扇・ナースコールが各居室に設置されています。利用者は使い慣れた机や鏡台、三面鏡、タンス、仏壇などを持ち込み居心地のよく過ごせるようにしています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・居室入口にはご家族にお願いして表札を掛けて頂いています。リビングの床暖。家具は危険のないよう角は無くどっしりと落ち着いています。壁や床の色は、明るく、窓も北側、南側にありベランダもあります。		

事業所名	そよ風
ユニット名	3フロアー けやきユニット

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>・事業所理念、介護理念は、定着してきている。すべての職員、全ての項目について実践してゆく事が課題です。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>・自治会との交流。地域の行事に参加しています。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>・未実施（23年度計画実施予定）</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・会議の中で出た意見や、話は参考にさせて頂いています。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>・運営推進会議、その他敬老祭への出席をお願いしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関の施錠はしない様に心がけています。 ・薬を出来るだけ使用しない努力をしています。 		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修で実施。 ・ご利用者の身体の変化を細かく見る様にしている。 		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに成年後見制度を利用されている方は、後見人の方と連絡を取りご本人が困ることがないように連携を図っています。 ・研修会への参加。 		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時に説明を行っています。 ・ユニット玄関にいつでも見られるように置いてあります。 		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面会時に、御家族とお話ができるよう心がけています。 ・今後お便り等の方法で発信する機会を設けて行きたい。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・意見や提案は、会議などで職員全体で話し合いながら、進めています。 ・改善点について業務に反映できています。 		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・日々努力しています。 		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット会議内で、お互いのケアの方法を意見交換しています。 ・職員会議の中でお研修。 ・OJTを23年度作成予定。 		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・大和市内のグループホーム職員の集い（偶数月）や、ホーム長会（奇数月）への参加。 		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時の不安を受けとめながら、適切な声掛けをし支援しています。 ・先入観は持たず対応しています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・面会時には、御家族にお話ができるようお声をかけ相談をお受けするよう心がけています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・ご家族との時間を大切にしています。ご家族との外出も積極的に取り組んでいます。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・できるだけ、ご自分でできる事はして頂き、私たちのお手伝いもお願いしています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・誕生会などの行事に参加できる機会を作り、一緒に楽しんで頂けるようにしています。 ・習い事への支援（外部）		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・知人などの訪問は、快く受け入れくつろいで頂けるよう配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・毎月の行事。 ・音楽クラブの実施。 ・テーブル席、外出時の席等気の合う方が近くになる様配慮しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・退所された方からの相談は現在特にありませんが、今後は考えていきます。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・ご本人のご希望が実現できる様に心がけています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入所前の生活歴などについて情報をご家族から得て、職員共有しています。（お仕事の内容、生活習慣、御利用者の価値観など）		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・ご利用者とコミュニケーションをとり、介助をしている中で現状の把握に努め、確認しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット会議の中で現状把握、ADLの低下や認知症の進行などについて話し合い早めに対応するよう心がけています。 		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の様子等の記録はパソコンで行っています。 ・記録の内容から統計を行い、介護計画につなげています。 ・他に情報の共有は、申し送りやノートを活用しています。 		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受診などご家族に代わり職員の付き添いで行く事もあり、変化に応じて対応しています。 		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の商店との関わり合い（魚屋さん、八百屋さん、コンビニなど）。消防署・警察署には訓練時。スーパーや美容院など様々な協力の中で生活を送っています。 		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問医との連携できています。もっと詳しく診て欲しいとのご家族からの希望が有る時には、ドクターからの紹介状を頂き、他の病院の受診もできます。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者に異常が有る時には、みなみ風、真和クリニック（訪問医）の看護師と直に連絡を取り指示を仰ぐことができます。 		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入院の際は、医師、看護師の指示に従い速やかに対処しています。退院時は入院中の様子、退院後の介護について入院先の相談員やご家族と連携し、情報交換し安心して生活が送れる様に心がけています。訪問医も入院先のムンテラに同席して頂く時もあります。 		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・「重度化した場合における対応に係る指針」が有ります。2名の実施。入院までの対応でしたがご家族とスタッフ医療チームが良く話し合いができていました。 ・地域の病院とも連携ができています。 		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・往診医との連携を取り急変時は対応しています。 ・会議の中で研修を行い周知しています。 		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、避難訓練は定期的に行っています。 ・地域の訓練にも参加しています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・一人ひとりの個性を大切にした支援を心がけています。言葉づかいにも十分注意しています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・ご本人の要望についてコミュニケーションを取りながら把握に努めています。ご希望に応じた対応を心がけています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・ご利用者の希望を大切にしたいので、散歩、外出など時間を作り支援するようにしています。訴えられた時にすぐに実現できなかったとしても、職員間で話し合い希望をかなえられるようにしています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・ご自分で更衣が出来る方には、好きな服を着て頂き、援助が必要な方には、個人にあった物を着用して頂いています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・料理の下ごしらえが出来る方には、なるべくお手伝いをお願いし、一緒に料理を行っている。片付けもご自分でできる方には下膳のお手伝いも進んで頂くよう声掛けをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・毎月の献立を作成しています。同じ献立がない様に食品目を多く摂取できるようにしています。献立にはご利用者の希望を訪ね、メニューに取り入れます。水分は1日に800ml～1000ml以上摂取されています。法人栄養士から指導、アドバイスを受けています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・食後は、一人ひとり職員が声掛けを行い、一緒に口腔ケア実施しています。夕食後は、義歯を殺菌剤に浸し消毒ケアを行っています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>・個々の排泄残存機能について把握しています。トイレの利用介助と見守り。排尿、排便のチェック記録。今後布パンツとパットへの移行を検討していきます。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>・牛乳とヨーグルトの摂取を積極的に行っています。</p> <p>・便秘の方の下剤の調整は訪問医と連携しきめ細かく行っています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>・拒否の強い場合は、無理なご案内はしていません。入浴時はゆったりとした雰囲気の中で職員と会話を楽しみながらの実施を心がけています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の生活のリズムを把握しベッドへの休息を行っています。 ・週に一度のリネン交換と、時々布団干しも行い、気持ち良い安眠を心がけています。 		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・薬シートで情報の一元化しています。服薬については、セット時2人職員のチェックを行います。服薬後は、チェック表で管理しています。 ・往診時に薬の変更など書面、口頭申し送りしています 		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>散歩、音楽クラブ、行事参加、お買い物、みなみ風喫茶店の利用、飾り物作り、ユニット内でのコーラスなど、保育園「風の子」との交流。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外出には、一人でも多くの方々に参加して頂けるよう、職員も計画を立て、バスツアーや食事会などに出掛け楽しんで頂けるよう心がけています。 		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者個人では、殆どの方が出来なくご家族と連絡を取り欲しいものや、必要な物を買ってきて頂くようお願いしています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話については、ご利用頂く時もあります。手紙については、御利用者が書かれた手紙は、住所を確認して、すぐにポストへお出しします。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・玄関は、季節に応じた飾り付け。廊下には手摺、夜には灯り。居間食堂は、娯楽の場としてもオープンにし、御家族、友人の面会時も自由にご利用いただけます。行事の写真なども貼ってあります。浴室、トイレは、清潔に清掃し気持ち良くご利用頂けます。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・食事席以外は自由に過ごして頂いています。新聞、本を読まれる方、手紙を書かれたり、居眠りをする方、談笑されたりとする光景が有ります。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ご自分の使い慣れた家具（椅子や机、鏡台、三面鏡、箆笥、仏壇など）をご自宅より持ち込んで頂いています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・居室入口にはご家族にお願いして表札を掛けて頂いています。リビングの床暖。家具は危険のないよう角は無くどっしりと落ち着いています。壁や床の色は、明るく、窓も北側、南側にありベランダもあります。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	・利用者家族へのアンケート結果より、改善してほしい点、気になる点等の内容を、真摯に受け止め、家族の意見や、要望を十分に伝えて頂けるような、関係作りを構築する。	・利用者家族に「そよ風」の日常生活をもっと知って頂くために、『そよ風だより』を発信していきます。	・今年度より、年3回(5月、9月、1月)『そよ風便り』を発行します。内容は、今年度の目標、1年間の行事予定、ユニットの様子、職員の紹介等。また家族からの投稿もお願いしていきます。家族会などの提案もしていきます。	12
2	43	・トイレ誘導や見守り等個々への対応はできていますが、紙パンツ、パット利用の方が多いので排泄用品を出来るだけ減らす事で、利用者家族の費用の軽減、又ゴミの量も減らすことを考える。	・平成23年度『快適な生活』紙パンツから布パンツへの移行に取り組みます。 ・排泄用品メーカーの協力による研修会。	・各フロアー利用者別排泄パターンの確認、排泄用品利用状況の確認を行いシート作成。毎月職員会議の中で結果報告、無理のないように進めていく。 ・ご家族にも内容報告します。・排泄用品メーカーの協力による研修会の実施。	12
3	43	・地域の中でグループホーム「そよ風」の存在は、知って頂けるようになりました。認知症対応型施設としての理解は、まだまだです。そよ風の生活と認知症について発信していきます。	・『そよ風だより』自治会版を作り83ヶ所へ回覧していきます。	・『そよ風だより』の一部を変更し“認知症の理解と対応”を分かりやすく掲載します。 ・今年度は、自治会の班長として関わっていきます。・4/22の運営推進会議にて自治会会長の出席時、回覧板についての案は了解いただきました。	12
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。